

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 5月 1日 更新

事務事業名		英語検定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	曾我 陽子
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款 10	項 3	目 1	事業連番 11768	根拠法令	熊本県教育・文化等振興補助金交付要項 中学校英語検定チャレンジ事業		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	令和元年度から、熊本県において中学校英語検定チャレンジ事業補助金が実施され、中学校3年生の英検受験料の3分の1の助成が開始されることになった。本市においても、グローバル人材の育成を目指し、生徒の英語力向上に向け、積極的な挑戦を支援するため、すべての中学校3年生を対象とするため、授業のなかで英検受験を取り入れる。
【業務の流れ】	公益財団法人日本英語検定協会へ団体申込み→検定料の支払い→試験実施→可否通知
【主な予算費目】	役務費 (英検受験料)
【意見や要望】	県教育委員会より、中学校英語検定チャレンジ事業への積極的な参加を促されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	すべての中学校3年生を対象とするため、授業のなかで英語検定を実施する	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 令和元年度と同様に、中学3年生の授業のなかで英語検定を実施する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 英検受験した生徒数	予算の主な増減の理由 県補助事業の開始に伴いR1年度が補正予算対応だったことによる検定料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	中学3年生の生徒	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 中学3年生の生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア: 今年度英検3級以上を取得した生徒数
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	人	ア			682	493	651	705	794	789	
② 対象指標	人	ア			682	682	651	705	794	789	
③ 成果指標	人	ア			160	150	165	170	175	180	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円			599	858	916	1,032	1,025	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円				1,199	1,716	1,834	2,065	2,053
	(A) 事業費計	千円			0	1,798	2,574	2,750	3,097	3,078	
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間			40	50	40	40	40	40	
	(B) 人件費計	千円			159	198	159	159	159	159	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			159	1,996	2,733	2,909	3,256	3,237	

事務事業名	英語検定事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全員英検受験とすることで、英語学習に対する意識・意欲を高め、生徒の英語力を向上させる
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 中学3年生が対象であり、毎年対象生徒が変わるため、成果の向上余地がある
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 中学校の授業で取り入れるため、他に手段はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 英検受験料のみであるため、削減余地がない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の時間で実施しているため、削減の余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 授業で取り入れるため、全員受験となり公平・公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 中学校の授業において実施しているため、見直し余地はない

3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>必要最低限の時間とコストで実施しているため、現状維持</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						